

2020 年度

豊中市立青少年自然の家
運営管理 報告書

期 間

2020 年 4 月 1 日 ~

2021 年 3 月 31 日

NPO 法人 豊中市青少年野外活動協会

1.収支報告書

2020年度 豊中市立青少年自然の家わっぱる 収支報告書

(1) 収入

(単位:円)

区分	予算額	精算額		差引増減額(精算-予算)
豊中市指定管理料	55,501,000	55,509,260		8,260
主催事業参加費収入	5,313,000	431,090		-4,881,910
補助金収入	0	0		0
収益事業	1,900,000	シート利用料収入	283,220	115,730
		その他物販収入	1,732,510	
合計	62,714,000	57,956,080		-4,757,920

(2) 支出

区分	予算額	精算額		差引増減額(精算-予算)
施設運営人件費	27,600,000	28,768,711		1,168,711
燃料費	1,200,000	308,210		-891,790
光熱水費	2,300,000	1,728,330		-571,670
修繕費	3,000,000	3,073,918		73,918
保険料	50,000	50,400		400
外注検査等委託費	14,558,000	13,977,952		-580,048
主催事業運営費(育成費含む)	5,255,000	主催事業運営費	1,284,291	-3,739,228
		育成費	231,481	
運営事務費	3,314,000	2,452,634		-861,366
一般管理費	1,611,000	2,455,345		844,345
公課費	2,232,000	3,396,875		1,164,875
減価償却費	0	227,933		227,933
予備費	1,594,000	0		-1,594,000
合計	62,714,000	57,956,080		-4,757,920

2020年度委託業務実績書

区分	細目	実績額	摘要
施設運営人件費	給与	24,081,776	理事費用并償含む
	労働保険(雇用・労災)掛金	200,998	
	健康保険・厚生年金	3,817,195	
	中退共掛金	780,000	職員6名
	福利厚生費	60,986	
	小計	28,768,711	補正①
燃料費	燃料費	308,210	ボイラー用重油・灯油
	小計	308,210	
光熱水費	電気代	1,671,948	
	ガス代	56,382	
	小計	1,728,330	
修繕費	枯れ松危険木処分	0	修繕費で清算
	設備修繕費	3,073,918	
	小計	3,073,918	
保険料	保険料	50,400	非営利有償活動団体保険
	小計	50,400	
外注・検査等委託費	① 毛布クリーニング	483,560	
	② 食堂運営等委託費	5,713,888	
	③ 施設警備委託費	3,739,560	
	④ ゴミ処理費	457,600	
	⑤ 自家用電気工作物保守点検	139,656	
	⑥ 消防設備機械保守点検	77,000	
	⑦ 飲料水水質検査費	335,500	
	⑧ 浄化槽設備維持管理	1,345,300	
	⑨ 貯水槽等清掃	413,600	
	⑩ 給湯用ボイラー保守点検費	146,124	
	⑪ 暖房用ボイラー保守点検費	97,416	
	⑫ ろ過装置保守点検費	732,480	
	⑬ 飲料水滅菌装置設備保守点検	67,898	
	⑭ 浄化槽検査費	26,500	
	⑮ 設備点検費	143,000	建築基準法に基づく設備・建物点検
	⑯ 天体望遠鏡保守点検費	58,870	
	⑰ 重油タンク法定性能検査	0	
	小計	13,977,952	
主催事業運営費①	主催事業運営費	1,284,291	補正②
主催事業運営費②	(ボランティア育成費)	231,481	
運営事務費	① 備品材料費(3000超備品・ユニフォーム・薪・プログラム材料)	1,041,761	
	② 消耗品費	477,655	
	③ 車両費	263,551	自動車保険含む
	④ レンタル・リース費	83,279	OA機器リース・車両レンタル他
	⑤ 広告宣伝費	20,606	外注印刷代他
	⑥ 通信費	172,006	
	⑦ 謝礼金	0	
	⑧ 交通費	45,698	
	⑨ 研修費	52,617	
	⑩ 食料費	7,018	
	⑪ 諸会費	28,440	観光協会会費等
	⑫ 新聞図書費	48,420	
	⑬ 天文協会プログラム指導料	15,000	
	⑭ 雑費	196,583	NHK受信料・PC・雑誌・運賃手数料他
	⑮ 一般管理費	2,455,345	補正③
	小計	4,907,979	
公課費	公課費	3,628,000	法人税・消費税・印紙税
	小計	3,396,875	補正④
原価償却費		227,933	補正⑤
計		57,956,080	

※補正① 人件費から「事務局給与分を収入比で按分したもの」を除外する

※補正② 事業直接経費に「事業間接経費を参加費収入で按分したもの」を加える

※補正③ 「事務局経費を収入比で按分したもの」に協会収益を加える

※補正④ 租税公課を収入比で按分する

※補正⑤ 「事務局の減価償却費を収入比で按分したもの」にわづら減価償却費を加える

補正① 人件費から「事務局給与分を収入比で按分したもの」を除外する

按分率A(全体の収入比で按分)

わっぱる収入	57,956,080	0.965865237
総収入	60,004,313	

事務局給与の減額分計算

	額面	補正	人件費より削減額
松田給与	1,721,000	1,662,254	58,746
丁野給与	3,325,000	3,211,502	113,498
		合計	172,244
		正数	172,244 イ
人件費合計	28,940,955	ア	

補正① = アーイ

28,768,711

補正② 事業直接経費に「事業間接経費を参加費収入で按分したもの」を加える

按分率B(事業の参加費収入で按分)

わっぱる主催事業	431,090	0.975118189
総事業	442,090	
事業直接経費	1,066,753 ウ	

	実数値	補正值
事業間接経費	223,089	217,538
	正数	217,538 エ

補正② = ウ+エ

1,284,291

補正③ 「事務局経費を収入比で按分したもの」に協会収益を加える

按分率A(全体の収入比で按分)

わっぱる収入	57,956,080	0.965865237
総収入	60,004,313	

一般管理費(事務局経費+協会収益)

	実数値	補正值
事務局経費	1,987,444	1,919,603
	(正数)	1,919,603 オ
一般管理費を除く運営事務費	2,452,634	
協会収益	535,742	カ

補正③ = オ+カ

2,455,345

補正④ 法人税と消費税と印紙税を収入比で按分する

按分率A(全体の収入比で按分)

わっぱる収入	61,107,653	0.93629423
総収入	65,265,438	

公課費 3,628,000 (消費税+法人税+印紙税)

	実数値	補正值
公課費	3,628,000	3,396,875
	(正数)	3,396,875 キ

補正④ = キ

3,396,875

補正⑤ 「事務局の減価償却費を収入比で按分したもの」にわっぱる減価償却費を加える

按分率A(全体の収入比で按分)

わっぱる収入	61,107,653	0.93629423
総収入	65,265,438	

	実数値	補正值
事務局減価償却費	117,716	110,217
	(正数)	110,217 ク

補正⑤ = ク+ケ

227,933

2.運営管理報告書

総括

1. 施設運営に関する基本事項について

2020 年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きかった。施設の休所や「密」を回避するための定員削減なども実施。利用者・利用団体を受け入れる際も感染防止策を検討・実行し、リスクを最小限に抑えながらの受け入れを行った。

緊急事態宣言の発令に伴う休業日が 45 日（※4/4～5/25 の内、元々の休所日除く）、宿泊不可や新規宿泊予約不可が 68 日（※5/26～6/19、1/14～3/7 の内、元々の休所日除く）、4～9 月のキャンセルが 87 団体・延べ 6,714 名（※主催事業は除く）、わっぱるの繁忙期である 7・8 月においても、40 名以上の大きな団体の利用は 2 団体にとどまるなど、特に前期は利用者数・利用率に関して大きな影響を受けた。

また、従来、利用者が行なっていた共用スペース（トイレやおふろなど）の清掃に加え消毒、利用者退所後に使用場所（宿舍や食堂、炊事場など）の消毒といった、感染拡大防止対策に伴う業務が増え、受入人数や利用時間などに、ゆとりをもった対応が必要となった。

そのような中でも「ホスピタリティ」や人権意識を大切に、各種法令・条例を踏まえた「豊中市の公共施設」としてふさわしい施設運営を目指した。

特に、新型コロナウイルス感染症対策に関しては、各種情報（最新の科学的知見や自治体の動き、他施設や他団体の状況等）の収集を行い、豊中市との協議を行いながら利用者・利用団体の受け入れに反映させていった。

2. 施設運営について

主に以下の4つの切り口から施設運営に取り組んだ。

- (1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供
- (2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催
- (3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供
- (4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

引き続き、利用者向けのアンケートや主催事業に対するアンケートの結果は良好であり、概ね計画通りに施設運営が行えたと考える。

(1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供

前述の新型コロナウイルス感染症への対策を取りながらも「ホスピタリティ」を持った利用者受け入れを心がけ、それぞれの団体の目的や構成、野外活動のレベルなどを踏まえた対応を行った。2020 年度は小学校（主に豊中市内の小学校）による利用が多くあった。プログラムの立案や運営にスタッフが深く関わり、それぞれ充実した活動につなげた。

また、主催事業や施設整備などに他団体の協力を得ることが例年に比べて難しい状況ではあったが、可能な範囲で関わっていただいた。

(2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催

コロナウイルス感染症対策として、職員が直接プログラム指導を行うことを抑制した。そのような中でも、施設を初めて利用する団体や、野外活動経験が少ない団体でも効果的に「わっぱる」で過ごしていただけるように、代替として「プログラムレンピ」を充実させた。

2020 年度は、21 の主催事業を予定していたが、多くの事業を中止とした。事業によっては、代替としてオンラインでのプログラムを実施した。また、感染拡大の時機的な問題もあるが、家族を対象とした事業については、比較的实施しやすく、日帰り・宿泊ともに実施できた。

(3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供

ホームページや動画サイト、SNS(Twitter や Facebook)を活用しながら、施設の情報を発信した。外出やイベントの自粛、新しい生活様式などで、ストレスを感じるが増えた分、感染リスクの低い野外で過ごしてリフレッシュしてもらえるよう、自然の魅力発信に努めた。

また、2020 年度より「公式 LINE」をスタートさせ、主催事業の告知等に活用した。その他、豊中市内の小学校に日帰り利用の提案を行うとともに、出前事業などを通して施設の PR を行った。

(4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

研修事業として子どもに関わる指導者を対象とした「指導者研修事業」を実施した。

当協会の若者ボランティア(キャンプカウンセラー)に対しても、「わっぱる」の主催事業やプログラム提供、研修への参加を促し、野外活動指導者としての育成を図った。

3. 施設管理について

引き続き、施設管理担当者(管理マネージャー)を中心に、施設管理を行った。職員ミーティングの場などを活用して、修繕が必要な箇所の情報共有、修繕のスケジュールの調整を行い、計画的・効果的な施設管理を心がけた。また、専門性や危険性の高い作業については専門の業者に委託した。

4. スタッフの配置・育成について

第一種衛生管理者の資格を取得した安全衛生担当者が中心となり、職員間ミーティングの場などを活用して職場の安全衛生環境の維持・改善に取り組んだ。また、各種研修への派遣、開催を通して、公共施設のスタッフにふさわしい人権意識や知識の習得、施設管理やプログラム指導において必要となる資格や知識・技術の習得に努めた。その他、緊急時を想定した訓練も実施した。

5. 目標数値について

標準 SLA(サービス水準合意書)で掲げた数値に対しての実績は以下の通りである。新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの項目で「確保すべきサービスレベル」を下回っている。

今後は、感染のリスクを抑えることを大前提としながらも、多くの方に充実した活動をしていただ

くために、施設の PR やプログラム開発など、利用促進の取組みを行っていく。

サービス分類	項目	実績 (2020 年 度)	確保すべき サービスレベル	最高評価 サービスレベル
施設の効用	利用団体数(人数)	196 団体 4,172 人	280 団体 (13,000 人)	360 団体 (20,000 人)
	利用率	25%/200%	30%/200%	40%/200%
	主催事業実施数 (事業数)	9 事業 ※16 事業 中止	17 事業(主催キ ャンプ含む)	20 事業(主催キ ャンプ含む)
青少年健全育成 の推進	施設環境整備実施回 数	13 回/年	4 回/年	8 回/年
	主催キャンプの実施	0 回/年 ※4 事業中止	4 回/年	5 回以上/年
	プログラム開発 (出前事業含む)	6 件/年	3 件/年	5 件以上/年
	H P アクセス数	28,189 件	10,000 件	20,000 件
	指導者研修	3 回/ 延べ 32 人 /年	2 回/ 延べ 60 人/年	8 回/延べ 240 人/年
従事者への配慮	職員研修	10 回/年	5 回/年	6 回以上/年
関係機関との連携	協力団体数	6 団体/年	10 団体/年	25 団体以上/ 年
利用者満足度	アンケート回収率	61.7%	60 % / 利用団 体数	80%以上/ 利用団体数
	アンケート総合満足 度	96.7%	75%以上	90%以上
	利用団体リピート率	53.1%	40 % 以上 / 利 用団体数	70 % 以上 / 利 用団体数
	苦情件数	0 件/年	6 件以下/年	2 件以下/年
安全・安心	防災訓練の実施回数	2 回/年	2 回/年	4 回以上/年
	施設内の巡視点検	2 回/日	2 回/日	3 回以上/日
収支	指定管理業務に係る 収支	黒字である	黒字であるこ と	—

1. 施設運営に関する基本事項について

「豊中市の公共施設」に相応しい施設の管理運営を行うため、以下の項目を実施した。

(1) 様々な主体による多角的な管理運営状況のチェック、モニタリング

① 理事会・企画運営委員会の開催

団体内での定期的な会議(理事会・運営委員会)を活用して施設の状況の報告・共有を行った上で、その後の管理運営へ反映させた。

a: 理事会

当協会の理事によって構成され、主に施設の管理運営方針の検討・決定を行った。2020年度は以下の日程で理事会を実施した。

第1回	2020年6月4日	19:00～21:00
第2回	2020年10月17日	19:00～21:00
第3回	2021年2月24日	19:30～22:00

b: 運営委員会

当協会の理事、職員、ボランティア有志によって構成される。主催事業の実施方針の決定や準備、研修のほか、施設運営上のルールの検討、施設整備内容の検討を行った。2020年度は以下の日程で運営委員会を実施した。

第1回	2020年4月15日	19:30～21:00
第2回	2020年5月26日	19:30～21:00
第3回	2020年6月23日	19:30～21:00
第4回	2020年7月14日	19:30～21:00
第5回	2020年8月21日	19:30～21:00
第6回	2020年9月17日	19:30～21:00
第7回	2020年2月21日	19:30～21:00
第8回	2020年11月2日	19:30～21:00

② 利用者アンケートの実施

利用団体にアンケートを実施した。利用者に対して退所時にアンケートの提出を依頼し結果を共有、運営の改善へ繋げた。(アンケート結果については別紙 1-1 参照)

(2) コンプライアンス委員会の開催

前述の理事会の開催に合わせて、コンプライアンス委員会を2回開催した。

(6月4日及び10月17日)

夏の繁忙期前後での課題や実施事項の報告、振り返りを行った。

(3)「人権」に関する研修への参加

豊中市社会福祉協議会主催の災害支援研修会に参加し、災害時の高齢者等の避難誘導やケアプラン、コロナ禍での避難所運営について学んだ。

※ 研修の詳細については P18「5. 職員の配置・育成」を参照

(4)「施設管理担当者」および「安全・危機管理担当者」の設置

引き続き、管理マネージャーを施設管理担当者として計画的な施設管理に取り組んだ。また、管理マネージャー及び副所長を「安全・危機管理担当」として、主に以下の取り組みを行った。

①施設管理

施設管理のサイクルをもとに施設整備を行った。例年、多くの市民・団体と連携することを念頭に置いて施設整備を行っていたが、今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のために、協会スタッフ中心で実施した。また、専門性や危険性の高い作業については専門の業者に委託した

※施設管理の詳細に関しては、P16「4. 施設管理・施設整備」参照

②安全・危機管理

前述の、「安全・危機管理担当」が主導し、施設利用者・利用団体の安全対策に取り組んだ。

※安全・危機管理の詳細に関しては、P15「3. 安全対策」参照

(5)個人情報保護、情報公開への取り組み

「個人情報保護士」の資格を有する副所長が情報保護、情報公開事例や事故事例を収集し職員向けに啓発を行った。

2. 施設運営

「サポート&ホスピタリティ with スマイル」を基本コンセプトとしながら、施設運営を行った。

引き続き、以下の4つの切り口から施設運営に取り組んだ。

- (1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供
- (2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催
- (3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供
- (4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

(1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供

①「豊かな活動の場」を実現するための取り組み

「里山の自然」と「多様な人々の支援」が融合した「豊かな活動の場」を実現するため、例年多くの人々・団体に施設の管理や事業の運営に協力していただいている。コロナウイルス感染症拡大防止との兼ね合いの中で、2020 年度においてはその回数は減少したものの、可能な限

り多くの人々・団体に関わっていただいた。

a. 主催事業

主催行事において、以下の団体や個人に協力していただいた。若者支援の専門団体「一般社団法人 キャリアブリッジ」と協力して引きこもりの若者をサポートする「ユースチャレンジキャンプ」を実施した。また、宮城県の防災アドバイザーを講師とした防災キャンプを初めて実施した。その他、青少年指導者を対象にした「指導者研修事業」において、人間関係トレーニングやプログラム企画の専門家を講師として招聘した。

※連携をとった主催事業

各主催事業の内容や日程、参加者数は P25 「2020 年度 主催事業一覧」及び P26 「2020 年度主催事業報告」を参照。

事業	協力団体等	実施内容
里山の秋オープンフェスタ	豊中天文協会	太陽観察
	ガールスカウト豊中地区	野点
	クラフト工房主催者	自然工作
防災キャンプ	防災アドバイザー	避難所運営講師
指導者研修事業	共育座 REDSTONE	コミュニケーションに関する講座
ユースチャレンジキャンプ	一般社団法人 キャリアブリッジ	訓練生の生活指導

b. サポーターへの登録

引き続き、施設運営や整備に協力していただく方や団体をサポーターとして登録し、リスト化している。

i : 登録団体、個人数: 50 (2019 年度は 49)

ii : 主な活動

- ・ワークキャンプや臨時施設整備での施設の整備への協力。
- ・各種主催事業で、運営やプログラム提供などに協力。
- ・一般の利用者や学校に対するプログラム提供に協力。
- ・竹や薪など、プログラムに必要な資材を有償や無償で提供。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、上記活動も少なくなった。例年、豊中天文協会にプログラム提供して頂いている天体観測プログラムについても、2020 年度は休止した。

c. 「とよなかの里山 わっぱる」の環境整備

「里山の自然」の環境整備活動について、主催事業(「ユースチャレンジキャンプ」「森の学

校)」の機会を活かして、市民・市民団体と連携して行った。

(詳細は P16「4. 施設管理・施設整備」を参照)

(2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催

① モデルプログラムとプログラムレシピ

キャンプ経験が浅い層に対して、引き続きモデルプログラムの紹介を行った。一方で、例年は経験が浅い層にも気軽に施設に足を運んでもらえるようにスタッフのよる指導付きプログラムの提供を行っているが、コロナウイルス感染症の拡大防止のために今年度は提供を大きく抑制した。代わりに利用者・利用団体自身でプログラムを実施していただけるプログラム資料(プログラムレシピ)を作成し提供した。(プログラムレシピは 17 枚作製。別紙 2-1 を参照)

※ プログラムの実績(プログラムレシピ、指導付きプログラム)

No	プログラム	2020 年度 実績	2019 年度 実績	2018 年度 実績	備考
1	クラフト	27 件	41 件	32 件	
2	職員指導プログラム	3 件	19 件	12 件	ネイチャーツアー、夜のたんけん、火起こしなど
3	野外炊事補助 アウトドアクッキング	2 件	18 件	5 件	通常の野外炊事補助に加えて、バウムクーヘン、アイスクリームづくりなど
4	キャンプファイヤー補助	3 件	5 件	9 件	薪組、司会、火守り
5	外部講師プログラム	0 件	4 件	9 件	天体観測

② 新規プログラムの開発

以下の 4 つのプログラムを新たに開発した。2021 年度より提供を開始していく。(一部 2020 年度より提供)

i : クラフトメニューに「フリーキット」を追加

※ 木片や木の実、アクセサリなどが入って、自由に工作が楽しめるキット。

ii : 夜のメニューとして「スウェーデントーチ」を追加(2020 年度より提供)

iii : クッキングプログラムとしてピザ窯セットを追加

iv : 日帰りのバーベキューエリアを新設

(プログラムの写真は別紙 2-2 を参照)

③ 主催事業の実施

「わっぱる」の知名度向上や利用促進を図り、自然体験活動や野外活動、団体生活の入り口

とするため、主催事業を実施した。

2020 年度は「わっぱる」を活用して防災プログラムを提供する「防災キャンプ」を初めて実施した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大をうけて、「ZOOM」を活用したオンライン事業にも初めて取り組んだ。

※各主催事業の内容や日程、参加者数は、P25「2020 年度 主催事業一覧」及び P26「2020 年度 主催事業報告」を参照。

④ 学校利用への対応

新型コロナウイルス感染症を受けて、9 月～11 月にかけて豊中市内を中心に多くの小学校に利用していただいた。（豊中市内から比較的近く日帰り利用も可能なことから、例年利用していた施設からの変更。）

豊中市内の全小学校に、施設やプログラム紹介の資料を送付した（41 校配布。資料については、別紙 2-4 参照）。また、下見・打ち合わせ段階からスタッフがサポートに付き、利用日当日の野外炊事、クラフト、ウォークラリー等のプログラムでも、1 クラスに 1 人のスタッフが付きながらの指導を行った。

※ 利用していただいた小学校

月	小学校	月	小学校
9 月	豊中市立東泉丘小学校	11 月	豊中市立桜井谷小学校
	豊中市立寺内小学校		豊中市立豊島小学校
	摂津市立別府小学校（宿泊）		豊中市立豊島北小学校
10 月	豊中市立東豊中小学校		豊中市立庄内小学校
	豊中市立新田小学校		
	豊中市立原田小学校		
	生野朝鮮初級学校（宿泊）		
	豊中市立蛍池小学校		
	豊中市立千成小学校		
	豊中市立西丘小学校		

豊中 12
他 2

（3）自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供

① ホームページの運営

ホームページを情報発信の柱として位置づけ、主に以下の情報をブログ「わっぱる便り」を中心に発信した。

・「わっぱる」のでできごと ・主催事業の告知 ・主催事業の報告 ・「能勢」の風物

2020 年度は 73 回の更新を行った。（2019 年度は 20 回の更新。ブログの見本については別

紙 2-3 参照)

② SNS の活用

ホームページ以外にも、さまざまな SNS を活用しながらの情報発信を行った。

a: ツイッターでの情報発信

ブログと関連付けて、ツイッターでの情報発信を行った。(現在フォロワーが 125 名)。

※参考: 2019 年度はフォロワーが 112 名

b: フェイスブックでの情報発信

公式フェイスブックでの情報発信を引き続き行った。主催事業の案内や報告、施設での出来事、施設内の動物の動画紹介、プログラム紹介などを行っている。(現在 176 名のフォロワー、159 名の『いいね』をいただいている。)

※参考: 2019 年度は 122 名のフォロー、108 名の『いいね』

c: Youtube での情報発信

Youtube に「わっぱるチャンネル」を開設。場内の動物の様子やプログラム紹介など、22 件の情報発信を行った(現在 39 名のチャンネル登録者)。

③ 施設紹介資料の配布

2020 年度も知名度向上と利用促進を目的として施設紹介リーフレットの配布を行った。

a: 公共施設向けの資料配布

i: 豊中市内公共施設

市内の公民館、図書館、体育館 eMIRAIE 環境交流センター

豊中市市民活動情報サロン など

ii: 能勢町内施設

生涯学習センター、子育て支援センター、浄るりシアター、観光物産センター、けやき資料館 など

iii: 近隣施設

猪名川町スポーツセンター、豊能町立スポーツセンター

b: 小学校向けの資料配布

前述の通り、豊中市内の小学校が林間学舎の場所を検討する時期に合わせて、施設やプログラムの紹介資料を配布した。(41 校配布。資料については、別紙 2-4 参照)

④ 出前広報活動

職員が「わっぱる」の外に出て、プログラムを提供する「出前事業」を、2020 年度は 2 件行っ

た。

No	月日	事業	内容	人数(概数)
1	6月17日(水)	おひさま保育園	お泊り保育に向けたキャンプファイヤーの講習会を実施。	20名
2	2月2日(火)	豊中市立千成小学校	3年生の社会「昔のくらし」に対応して、七輪での火起こしプログラムを実施。	50名

(4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

① 指導者研修事業の実施

10月～11月に主催事業としてキャンプテクニックスクールを実施した。当協会のボランティアだけではなく、広く「子どもに関わる人」を対象に、コミュニケーションや子どもとのかかわり方について学んだり、考えたりする場を作った。豊中市立青年の家いぶき及び「わっぱる」を会場に3回実施し、延べ32名の参加があった。

② キャンプカウンセラーの育成

主催事業やプログラム提供など、「わっぱる」運営への参画や研修を通して、当協会に所属しているボランティア(キャンプカウンセラー)の育成を図った。研修や、主催事業の企画・運営といった実践の中で指導者としてのレベルアップを図った。団体内での研修に加えて、外部からの講師を招いての研修も実施。キャンプカウンセラーの技術や知識に加えて、モチベーションの向上を図った。

ボランティア向け研修は年間で14回実施。野外教育理論、野外活動技術、組織キャンプの理解、子どもの理解、救急法などを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ZOOM」を活用したオンライン研修も実施した。(研修内容及び参加状況については、別紙2-5を参照)

(5) その他の「施設運営」に関する取り組み

① 食事提供体制の充実

引き続き食堂業者と、月に1回程度の定期ミーティングを持ち、利用者からの要望の共有を行うとともに、食事の内容や提供方法、食堂の環境等の改善を進めた。

※2020年度の実施内容

- ・季節に応じて、旬の食材を使った給食メニューの考案、提供。(夏・秋・冬の3回)
- ・団体の年齢層に応じた、食事量の調整。
- ・アレルギー対応に関する情報共有。
- ・夏季の冷茶無料提供。

② 心地よい空間づくり

利用者にとって居心地が良く、「わっぱるの自然」に興味を持ってもらえるように、主に事務所

前の団らんスペースにおいて引き続き以下を実施した。

- a: わっぱる敷地内にある樹木や苔、鉱石などの展示。生物の展示
- b: 書籍の充実。(アウトドア雑誌や自然環境に関する団体の機関誌、能勢町の資料など)
- c: 施設で体験できるクラフト見本の展示
- d: 他団体、他施設の紹介チラシ、イベントに関するチラシのコーナー
- e: WiFi 環境の充実(中継器を活用して、WiFi 電波がカバーする範囲を拡大) …等

3. 安全対策

前述の通り「安全・危機管理担当」を定め、利用者・利用団体の安全対策に取り組んだ。

(1) 危機管理マニュアルの整備

既に存在する「危機管理マニュアル」の内容に関して、各項目において検討を行い、追加や改訂を行った。特に火災時の対応フロー図については、避難訓練を通してより使いやすく効果的なものに改訂した。(フロー図については別紙 3-1 参照)

(2) 「食の安全」への対応

安全な食事のために、消費期限や賞味期限のチェック体制、食材の仕入れ体制について、食堂を委託している業者との間で確認を行った。また、アレルギーやハラル食に関しても、食物アレルギー調査票を運用し、食堂業者と密に連絡を取りながら対応を行った。(アレルギー調査票は別紙 3-2 参照)

(3) 緊急時を想定した訓練の実施

年度内に 2 回の避難訓練・避難誘導訓練・消火訓練を実施した。

(4) 気象災害への対応

近年頻発する気象災害を受けて、災害時の対応

- ・豪雨、暴風などの気象状況によって、施設判断で閉鎖を行うこと。
 - ・熱中症指数(WBGT)を基準に、利用団体へ注意を呼びかけること。
- を、今後も引き続き行っていく。

(5) 感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、施設利用にあたっての感染対策を策定、利用者向けの資料として発信・運用・掲示を行った。(具体的な資料については、別紙 3-3 を参照)

4. 施設管理・施設整備

今年度も、引き続き「安全・安心」を念頭に置きながら施設管理を行った。施設の破損や必要な整備項目については、発見後にミーティング等を通して随時職員間で共有をはかり、補修・修繕の方針を決定するという「施設管理サイクル」の定着を意識した。また、スタッフだけではなく、主催事業等を通して市民に施設整備に関わってもらい、施設への親しみを感じてもらえるように働きかけた。

※実施項目

- (1) 専門的内容の業者への委託
- (2) 計画的な施設管理サイクルの定着
- (3) 市民・市民団体・ボランティアと協働した施設整備
- (4) 「とよなかの里山 わっぱる」の魅力を高める整備活動

(1) 専門的内容の業者への委託

利用者の安全と施設の保守のため、以下の業務について専門業者に委託を行い適切な施設管理に努めた。

No	業務
1	施設警備
2	食堂運営・清掃業務
3	自家用電気工作物保守点検
4	消防設備機器保守点検
5	浄化槽設備維持管理
6	給湯用ボイラー保守点検
7	暖房用ボイラー保守点検
8	水質管理機器保守点検
9	ろ過装置保守点検
10	水質検査
11	ごみ処理
12	天体望遠鏡保守

(委託業務の内容、委託先は別紙 4-1 の通り)

(2) 計画的な施設管理サイクルの定着

引き続き、施設管理を重点的に担当する職員(管理マネージャー)の計画・指導のもと、修繕・補修が必要な個所の発見→方針の決定→計画→修繕・補修というサイクルを日常業務の中に組み入れながら施設管理を行った。

主に以下の整備を、職員によって、もしくは豊中市と連携を取りながら行った。

① 職員が行った主な整備項目

- ・ 場内の水路補修、側溝掃除(通年)
 - ・ 場内の手すり、階段、看板の補修(通年)
 - ・ 破損した道具類の修繕(通年)
 - ・ 場内の枯れ木の伐採、倒木の整備、焼却、薪作り(4～6月及び冬季)
 - ・ 場内の常緑樹の間伐(主に冬季)
 - ・ 場内ハイキング道の補修(5月・10月)
 - ・ 川の清掃及び周辺部の刈払い(6月)
 - ・ 屋上電灯の修繕(7月)
 - ・ 水道管漏水の修繕(7月)
 - ・ 正門わきスペースの整備(9月)
 - ・ 畑横門の塀改修(11月)
 - ・ 事務所そば小屋の内部修繕(1月～2月)
 - ・ 薪置き場の新設(2月)
 - ・ 薪庫扉の交換(3月)
- (整備の写真については別紙 4-2 の通り)

② 業者が行った主な整備項目

- ・ 場内水道管、排水管、ポンプ、トイレ等の破損補修(通年)
- ・ 館内の蒸気管の蒸気漏れ補修(冬季)
- ・ 南の沢の砂防工事(5月～)
- ・ 場内枯れ松の伐採(9月・3月)
- ・ 裏山の植栽木周辺整備(1月～2月)

(3) 市民・市民団体・ボランティアと協働した施設整備

「ユースチャレンジキャンプ」「森の学校」などの主催事業を通じて市民・市民団体・ボランティアを巻き込んだ施設整備・森林整備を実施。

- ・ ユースチャレンジキャンプ(9月に正門前エリアの整備を実施。)
- ・ わっぱる森をつくろう

(10月に森林整備や薪作りを実施。12月、1月、2月実施予定分はコロナウイルス感染症のために中止)

(4)「とよなかの里山 わっぱる」の魅力を高める整備活動

「とよなかの里山 わっぱる」の魅力を高めるために、以下の活動を行った。例年、市民や市民団体と協力しながら実施しているが、2020年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、職員を中心に協会スタッフで取り組んだ。

① 水辺の整備

施設整備期間等を利用して川の中や周辺部のゴミ拾いを行うとともに、岸辺の刈払いや間伐を行い、入りやすく、活動しやすい水辺を目指した。

② 間伐の実施

キャンプ場敷地をゾーニングし、手を入れるエリアについて常緑樹を中心に間伐を行った。また、立ち枯れをしたアカマツやコナラを職員で伐採・焼却したり、業者に伐採と処分を依頼したりした。(ゾーニングの内容については、別紙 4-3 を参照)

5. 職員の配置・育成

(1) 職員の配置

以下のように、職員を配置した。

区分	人数	主な職務内容	摘要
所長	1	指定管理業務全体の統括	所長
副所長 兼 事業担当	1	指定管理業務の企画立案と運営、労務管理、 豊中市との連絡調整業務、安全衛生管理、職 員の研修計画策定、主催事業の企画立案と運 営	副所長 兼 事業担当
管理 マネージャー	1	施設管理、外注契約指導・履行確認、各種メン テナンス契約事務、物品調達、利用者対応、施設 管理、備品管理	管理 マネージャー
広報担当	1	利用者対応、施設管理、施設広報 主催事業担当	広報担当
主任指導員	1	利用者対応、施設管理 主催事業担当	主任指導員
指導員	1	利用者対応、施設管理 主催事業担当	指導員
常勤職員計	6		
非常勤職員 (繁忙期)	1	利用者対応補助、施設管理補助	補助職員

(2) 職場における安全衛生管理

第一種衛生管理者の資格を持つ安全衛生担当者(副所長)を設置。担当者を中心として、月例の職員ミーティング等を活用しながら、労働環境について話し合った上で、良好な職場環境の維持・改善に取り組んだ。

(3) 公共施設の職員にふさわしい意識、スキル

主に「①人権意識」「②情報保護に関する知識・意識及びビジネスマナー」「③施設管理やプロ

グラム指導において望ましい資格やスキル、知識の習得」において職員の育成を図った。以下の研修に参加したり、職員の派遣を行ったりした。

① 人権意識

・人権研修の実施(1月)

※豊中市社会福祉協議会主催の災害支援研修会に参加した。(ZOOMで実施・6名)

- ・高齢者等の避難誘導と「災害時ケアプラン」について
- ・コロナ禍での避難所運営について

② 情報保護に関する知識・意識及びビジネスマナー

※情報保護に関する知識・意識及びビジネスマナーについては、業務の中で随時トレーニングを行った。

③ 施設管理やプログラム指導において望ましい資格やスキル、知識

a: 外部団体主催のもの

・オンライン自然観察会やってみた～博物館学芸員と映画監督と～

(7月28日・日本自然保護協会主催・1名参加)

・子ども・若者に関わる施設・団体の「いま」と「これから」

～コロナだけど/だからできること～

(5月21日、22日・日本環境教育フォーラム主催・2名参加)

・第24回日本キャンプミーティング～第1回オンラインミーティング～どうすればキャンプができるだろう

(6月6日・公益社団法人日本キャンプ協会主催・1名参加)

・第10回全国青少年施設所長会議・施設研究集会

(12月10日～11日・国立青少年教育振興機構主催・1名参加)

※体験活動と安全管理(新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた施設運営の在り方を含む)。

※青少年教育施設での緊急時の対応と防災教育について考える。

・令和2年度近畿地区青少年教育施設協議会所長研修会

(12月15日・近畿地区青少年教育施設協議会主催・1名参加)

※学校団体の利用を促す「教科等に関連付けた体験活動」を考える。

・甲種防火管理新規講習(2月25日・1名参加)

・危険物取扱者乙種4類(3月・1名取得)

b: 団体内講習

・指導者研修事業

1回目: 10月21日・2名参加

2回目: 11月12日・2名参加

3回目: 11月28日・2名参加

※子どもと接する指導者としての心構え、働きかけ方、グループワークなど。

(4) 職員企画提案事業の実施

定期的に実施する職員ミーティングを通じて、職員間で施設整備項目や、利用者への提供プログラムなどを検討し実現した。

(場内の修繕項目や、クラフトプログラム、自然体験プログラムなど)

3. 利用状況集計表

① 2020年度 利用状況

利用状況集計表 ①

	利用団体	実人数	延人数
宿泊棟・管理棟	49	729	1,578
キャンプ場	23	127	259
日帰り	124	2,335	2,335
合計	196	3,191	4,172

月別利用状況

平成25年度実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊棟・管理棟	団体数	0	0	1	9	11	7	7	4	1	0	1	8	49
	実人数	0	0	3	64	113	162	148	61	26	0	5	147	729
	延人数	0	0	6	125	226	392	308	113	52	0	10	346	1,578
テント	団体数	0	0	1	0	5	6	2	7	1	0	0	1	23
	実人数	0	0	4	0	23	24	10	56	5	0	0	5	127
	延人数	0	0	8	0	49	54	20	108	10	0	0	10	259
日帰り	団体数	0	3	7	9	48	13	13	15	3	3	4	6	124
	実人数	0	11	24	109	372	450	778	454	31	21	36	49	2,335
	延人数	0	11	24	109	372	450	778	454	31	21	36	49	2,335
合計	団体数	0	3	9	18	64	26	22	26	5	3	5	15	196
	実人数	0	11	31	173	508	636	936	571	62	21	41	201	3,191
	延人数	0	11	38	234	647	896	1,106	675	93	21	46	405	4,172

月別利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用日数	0	1	5	10	23	17	19	16	3	3	5	14	116
開所日数	3	6	18	28	30	26	27	25	23	24	24	27	258
利用率(%)	0.0%	16.7%	27.8%	35.7%	76.7%	65.4%	70.4%	64.0%	13.0%	12.5%	20.8%	51.9%	45.0%

※ 4月・5月は本来27日の開所日であったが、コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言発令により休所となった。

年度別利用状況比較

		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
宿泊棟・管理棟 (自然の家)	団体数	126	155	165	168	154	135	154	149	136	129	49
	実人数	4,815	5,120	5,288	5,088	4,866	4,159	5,047	4,675	4,194	3,802	729
	延人数	10,118	10,936	11,056	11,455	10,707	9,195	10,860	10,379	9,168	8,256	1,578
キャンプ場 (野外活動センター)	団体数	47	41	75	63	51	61	56	59	57	55	23
	実人数	1,160	983	1,389	1,753	1,573	1,430	1,008	1,052	931	895	127
	延人数	2,804	2,524	3,482	4,264	3,600	3,205	2,291	2,617	2,179	2,173	259
日帰り	団体数	61	87	91	107	75	92	107	100	118	112	124
	実人数	2,407	2,743	3,026	2,805	1,805	3,243	2,497	2,370	2,662	2,802	2,335
	延人数	2,407	2,743	3,026	2,805	1,805	3,243	2,497	2,370	2,662	2,802	2,335
両施設合計	団体数	234	283	331	338	280	288	317	308	311	296	196
	実人数	8,382	8,846	9,703	9,646	8,244	8,832	8,552	8,097	7,787	7,499	3,191
	延人数	15,329	16,203	17,564	18,524	16,112	15,643	15,648	15,366	14,009	13,231	4,172

2020年度 利用者内訳(対象者・市内市外別)

利用状況集計表②

利用者種別	宿泊棟・管理棟			テント			日帰り		
	団体数	実人数	延人数	団体数	実人数	延人数	団体数	実人数	延人数
1.市内目的	9	169	414	0	0	0	28	1544	1544
2.市内一般	2	25	47	1	2	4	4	32	32
3.市内家族	8	47	87	13	61	127	42	216	216
4.市内行政	0	0	0	0	0	0	1	13	13
5.市外	30	488	1030	9	64	128	49	530	530
合計	49	729	1578	23	127	259	124	2335	2335

利用者種別	合計		
	団体数	実人数	延人数
1.市内目的	37	1713	1958
2.市内一般	7	59	83
3.市内家族	63	324	430
4.市内行政	1	13	13
5.市外	88	1082	1688
合計	196	3191	4172

◆ 利用者種別の考え方

1	市内目的	「市内青少年団体」による利用。(行政機関による利用を除く)
2	市内一般	「市内一般団体」による利用。(家族による利用を除く)
3	市内家族	「市内一般団体」のうち、家族による利用。
4	市内行政	豊中市の行政機関による利用。
5	市外	「市外団体」による利用。

※「市内青少年団体」「市内一般団体」「市外団体」の定義は、利用ガイド等記載の「団体区分」に基づく。

◆ 利用人数の考え方

1	団体数	利用した団体の数
2	実人数	団体が利用した期間に滞在した人数の最大値 ex. 1日目は10人滞在 2日目は15人滞在中の場合 → 実人数は15人
3	延人数	団体が利用した期間に滞在した人数の合計 ex. 1日目は10人滞在 2日目は15人滞在中の場合 → 延人数は25人

【参考】 団体区分

NO.	区分	定義
1	市内団体 1. 活動の拠点が豊中市にある団体 2. 団体の活動の拠点が特になく、代表者の住所が豊中市にある団体。	目的団体 ① 1. 自然の家で自然体験活動、野外活動、団体生活を行う (＝活動を通じての青少年の健全育成を主たる目的としている団体) 2. 10人以上 3. 団体の過半数が30歳未満 以上3点を満たす団体
		一般団体 ② 1. 青少年健全育成のための学習活動、調査・研究を行う (年齢構成は関係なし) 2. 10人以上 以上2点を満たす団体
2		一般団体 ① 10人未満の団体 ② 1. 青少年健全育成のための学習活動、調査・研究を行わない 2. 10人以上 3. その過半数が30歳以上 以上3点を満たす団体
3		市外団体 ① 市内団体以外の団体

2020年度 主催事業一覧

※実施した主催事業

NO	事業名	概要	対象	日程	実施人数	参加人数
1	オープンフェスタ 秋	わっぱるを開放して自由に過ごす事業。多くの方や団体の協力を得ながら、たき火、クラフト、野外遊び、ウォークラリー、野点、天体観測などを実施した。 ※17日は雨天のために中止。	家族・グループ	10月18日 (日曜日)	81	81
2	指導者研修事業	日常的に子どもと関わる立場の人々を対象に、コミュニケーションのありかた、グループでの振る舞いや声のかけ方などを学ぶと同時に指導者間の交流の機会とした。	一般	10月21日 11月12日 11月28日 (日曜日)	32	32
3	ユースチャレンジキャンプ	「困難を有する若者」をサポートする団体と共同で、わっぱるでの整備作業を4泊5日で実施。森の中の整備を行った。	困難を有する若者	9月30日～ 10月4日 (4泊5日)	9	45
4	森の学校(第1回)	マキ割り、間伐などを通して「わっぱるの森」に親しんでもらった。	家族・グループ・一般	10月31日 (日曜日)	11	11
5	防災キャンプ	講師を招き、避難所の運営シミュレーション、火おこし、炊事プログラムなど、災害が起こった時を想定したプログラムを体験した。	家族・グループ・一般	11月22日～23日 (1泊2日)	31	62
6	オンライン事業キッズルーム①～⑧	コロナウイルス感染症拡大に伴う、緊急事態宣言を受けて、思うように外出ができない子どもたちに対して、オンラインで、同年代の子どもや若者ボランティアと一緒に遊んだり、物づくりをしたりする機会を提供した。	小学生 (1～6年)	5月5日・10日・ 16日・17日 (各日2回)	58	58
7	オンライン事業キッズルーム(工作)①～④		小学生 (1～6年)	7月25日・26日	12	12
8	クリスマスオンライン事業	クリスマス事業の中止を受けて、オンラインでレクリエーションや工作を行った。	小学生 (1～6年)	12月12日・ 13日	10	10
9	冬あそびオンライン事業	冬あそび事業の中止を受けて、オンラインでレクリエーションや工作を行った。	小学生 (1～6年)	2月27日・28日	9	9

320

※中止とした事業

NO	事業名		概要	対象	日程	定員
1	オープンフェスタ 春		全てコロナウイルス感染症拡大防止のため中止	家族・グループ	5月16日・17日 (日曜日) 宿泊も可	300
2	ワークキャンプ 6月			一般	6月24日～28日 (5日間)	-
3	ワークキャンプ 9月			一般	9月5日～6日 (1泊2日)	-
4	ジュニアキャンプ			小学生 (5,6年)	8月3日～5日 (2泊3日)	30
5	キャンピングスクール			小学生 (3,4年)	8月8日～10日 (2泊3日)	40
6～11	わっぱるキッズ	① クッキング(ご飯)		小学生 (1～6年)	5月30日・31日 (日曜日)	40
		② クッキング(おやつ)			6月20日・21日 (日曜日)	40
		③ 昆虫観察			8月1日～2日 (1泊2日)	40
		④ クリスマス			12月12日～13日 (1泊2日)	40
		⑤ こんにゃく作り			1月30日・31日 (日曜日)	40
		⑥ 冬あそび			2月27日～28日 (1泊2日)	40
12～14	森の学校(第2回～第4回)			家族・グループ・一般	12月5日 1月16日 2月13日 (日曜日)	各15
15・16	たき火DAY			家族・グループ・一般	1月24日 2月23日 (日曜日)	各20

アンケート集計表(2020年度)

アンケートに回答していただいた団体・グループ数 121

無記名方式 当日の打合せの際に手渡しし、帰る前に記入・お返しいただく。

◆施設をどうやって知ったか？

項目	数値	割合
インターネット検索	25	20.7%
チラシ	2	1.7%
広報とよなか	1	0.8%
知り合いから	17	14.0%
以前から利用していた	72	59.5%
その他	4	3.3%
合計	121	100.0%

◆利用満足度

項目	数値	割合
大変良かった	82	67.8%
良かった	35	28.9%
ふつう	4	3.3%
良くなかった	0	0.0%
合計	121	100.0%

96.7

◆今後の利用について

項目	数値	割合
ぜひ利用したい	87	75.7%
機会があれば利用したい	26	22.6%
イベント・企画があれば利用したい	1	0.9%
利用したくない	1	0.9%
合計	115	100.0%

◆良かった点(複数回答)

項目	数値	割合
施設・設備	69	32.5%
食事	24	11.3%
指導プログラム	8	3.8%
スタッフ対応	82	38.7%
交通	19	9.0%
その他	10	4.7%
合計	212	100.0%

☆施設・設備

- ・川で自由に遊べる。
- ・プールが大きかった。きれいだった。
- ・山小屋を広々と使うことができてゆっくりつかえた。
- ・子ども(3歳)が安心して遊べる深さのプールだった。
- ・川遊びもプールも近くて遊びやすかった。

☆指導プログラム

- ・クラフト(バードコールやスプーン)を子ども達はとても楽しんでいました！
- ・クラフトをていねいにご指導いただき楽しく作ることができました。

☆スタッフ対応

- ・スタッフが蛍が見えるよと教えてくださった。
- ・自然がたくさんあるところ。スタッフの方々がとても親切。
- ・こちらのスケジュールを見て、いろいろ配慮して下さった。
- ・適切な距離で見守っていただきありがたかったです。
- ・毎回スタッフさんの優しい対応で家族で安心しています。
- ・やさしく笑顔で接して下さりとてもうれしかったです。

◆良くなかった点(複数回答)

項目	数値	割合
施設・設備	2	15.4%
食事	1	7.7%
指導プログラム	0	0.0%
スタッフ対応	0	0.0%
交通	3	23.1%
その他	7	53.8%
合計	13	100.0%

★ 指導プログラム

- ・遠いのと、コロナでプログラム制限が残念でした。

★ 施設・設備

- ・トイレが和室で高齢者が大変でした。
- ・老朽化が進んでいた。
- ・1階、ろうかから男子風呂場、またその宿泊棟、カビ臭さに危険を感じ、そこは不快でした。
- ・イスがボロボロだったのが少し残念だった。
- ・トイレのスリッパが直しているのにバラバラになっていた。
- ・トイレがもう少し子どもにとって使いやすくなればと思います。
- ・本が古すぎたり、何となく玄関からごちゃついた物の多さが気になりました。

★ その他

- ・16時以降も遊べると嬉しいです。
- ・持参が必要なものとそうでないものが分かりにくかった。はし等
- ・宿舎のシーツのたたみ方など、細かいルールがありすぎた。
- ・はじめてだったので料金表のみかたがわかりにくかったです。

◆その他、感想・要望など

- ・健康チェックシートの様式をもう少し簡単にできないか。
- ・wifiの接続がもう少し良ければいいと思いました。
- ・テーブルがBBQできる(真ん中にあみおけるやつ)だと更にいいかと思います。
- ・サイトで火が使えたらよい。
- ・車の乗り入れができればなおよい。
- ・4月1日以降の阪急バスの減便が利用しやすさを半減させると思う。

◆食事について

※給食

分量は適当でしたか？(こども)

項目	数値	割合
少ない	1	5.6%
普通	16	88.9%
多い	1	5.6%
合計	18	100.0%

味はいかがでしたか？

項目	数値	割合
満足	17	85.0%
普通	2	10.0%
不満	1	5.0%
合計	20	100.0%

※弁当

分量は適当でしたか？(こども)

項目	数値	割合
少ない	0	0.0%
普通	5	71.4%
多い	2	28.6%
合計	7	100.0%

味はいかがでしたか？

項目	数値	割合
満足	6	100.0%
普通	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	6	100.0%

※野外炊事

分量は適当でしたか？(こども)

項目	数値	割合
少ない	0	0.0%
普通	8	72.7%
多い	3	27.3%
合計	11	100.0%

味はいかがでしたか？

項目	数値	割合
満足	13	100.0%
普通	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	13	100.0%

分量は適当でしたか？(大人)

項目	数値	割合
少ない	0	0.0%
普通	21	95.5%
多い	1	4.5%
合計	22	100.0%

分量は適当でしたか？(大人)

項目	数値	割合
少ない	0	0.0%
普通	7	100.0%
多い	0	0.0%
合計	7	100.0%

分量は適当でしたか？(大人)

項目	数値	割合
少ない	0	0.0%
普通	12	92.3%
多い	1	7.7%
合計	13	100.0%

◆食事についての要望等

- ・パンはトースターなど温かいものが良かった。
- ・キャベツのドレッシングなどがあると良かった。
- ・メニューを選べるのはとても良いと思います。
- ・ごはんがパサパサだったです…。ただ、たまご、味噌汁おいしかったです。
- ・自分で作るとおいしいと子ども達いつもよりたくさん食べるので
- ・次回から5人分にしようと思います(笑)
- ・いつも白ご飯を余らせてしまいます